



川東小だより

第9号

平成31年 1月18日

新発田市立

川東小学校

☆☆合い言葉は、「夢や目標」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジ です。☆☆

猪突猛進より勇往邁進！「夢や目標」に向けて強い気持ちで、未来を切り拓け！
～平成最後の年も、「夢や目標」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジ～

校長 田中 範克

平成31年になりました。いよいよ平成最後の年が、幕を開けました。今年の干支は「亥」。動物では「猪」です。

亥年の意味は、「たわわに実った実が種となり、エネルギーを蓄えて、次の準備をする年」だそうです。そして、干支の動物「猪」は、「強い意志」や「勇気と冒険」の象徴とされています。また、猪の肉に万病予防の効能があると信じられていることから、無病息災の意味もあるそうです。



「亥」年は、まさに平成という時代の最後の年であり、エネルギーを蓄え、新たな時代へ準備をする年といえます。新たな未来を切り拓くためには「強い意志」が必要で、「勇気ある冒険」がいろいろな意味でくり広げられる、そんな年になる予感がします。

あらためまして、保護者の皆様、地域の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年も川東小学校をよろしく願います。新たな時代となる亥年が、皆様にとって幸せが多く、無病息災の年になることを心よりお祈り申し上げますとともに、本年もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今年の干支の動物「猪」の象徴は「強い意志」です。「強い意志」は「強い気持ち」から生まれます。そこで、脳科学による「気持ち」について調べてみました。

「脳科学」によれば、「人間の脳は、本能を基盤にそこから生まれる気持ちと一体で機能している」という脳機能の基本があるそうです。そして、本能の仕組みから、子どもは無意識によりよくなりたいと願い、本能は「統一・一貫性」を求め、同じ遊びや練習、勉強をくり返すことによってその本能が鍛えられ、正しい判断力のレベルが上がるそうです。つまり、人間の脳が機能するもしないも「気持ち」しだいであるということです。

例えば、努力して実力をつけても、本番の試合や試験になると力が発揮できない場合があります。その正体は、無意識に起こる「気持ち」の力や流れの変化であるといえます。この現象は、自分では自覚しにくく、たとえば否定語の「むずかしい」「大変だ」「相手が強い」と思う気持ちなどに「統一・一貫性の本能」が反応すると、脳はそれに合わせて一貫性を保とうとマイナスに機能します。そのため、「気持ち」はもちろん、体の動きまでもが縛られ、目標が達成できなくなってしまうそうです。(林成之著『素質と思考の「脳科学」で子どもは伸びる』より)

このことを知って、「なるほど！」と思いました。やはり、ネガティブよりポジティブマインドが脳科学的にもよいことが納得できました。そして、スポーツでの勝利や、「夢や目標」の実現においては、前向きであきらめず、自分の力や今までの努力を信じる「強い気持ち」が関係していることが「脳科学」の視点からも理解できました。

亥年の3学期は、進学・進級に向けて、「どんな困難にもひるまず、目的に向かって、勇敢に前へ突き進む」という「勇往邁進(ゆうおうまいしん)」で、しっかり準備し、エネルギーを蓄えてほしいと願っています。とくに、自分の「夢や目標」を具体的にイメージし、「強い気持ち」をもって「勇気をもって冒険」してほしいと思います。平成最後の3学期も、「夢や目標」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジ！新しい時代と未来を切り拓け、川東っ子たち！！